長崎県議会議員3期目 会派：改革21

山田ともこだより

No.25

3期目も政策提案、県政を推進！

発行：山田ともこ事務所　2016年【5月】

当初予算、山田の提案が実る

県議会議員として３期目に入った昨年度も、中村知事をはじめ、県政に対する政策提案を積極的に行って参りました。地元の皆様の「声」を聞き、現場の課題を把握しながら政策を形成することが、私の信念です。

今年度の当初予算には、性暴力被害者支援「サポートながさき」の開設が盛り込まれ、４月１日より電話・面接相談、医療、法律相談、カウンセリング、付添い等の必要な支援が始まっています。

私は平成２６年２月の一般質問で、性被害のワンストップ支援センターの設置を提案し、さらに昨年１２月の一般質問でも設置の必要性を訴えてきました。

性暴力被害者は、心身に大きなダメージを受けているにも関わらず、その多くは被害に遭ったことを誰にも相談できずにいます。また、何とか相談しようとしても、必要な支援を受けるまでに、いくつもの機関に足を運び、そのたびに自分の身に起こったことを繰り返し説明し、その過程で傷つき、結局、何の支援も受けられないことも少なくありません。そんな声なき声が県内にもたくさんありました。

そのため、性暴力被害者専用のワンストップ支援センターの設置を提案し、この度の「サポートながさき」開設につながりました。被害者からの相談をワンストップで受け、被害者のニーズに応じ、関係機関との連携・協力による支援によって、被害者の負担軽減及び健康の早期回復、被害の潜在化防止が図られます。

《事　業　内　容》
- ●対象者：性暴力被害に遭われた方、保護者、支援者等
- ●相談受付時間：９時３０分～１７時
- ●性暴力被害相談専用ホットライン
  ⇒０９５-８９５-８８５６
- ●相談員：専門の女性相談員が対応
- ●まず、ホットラインに電話での相談を頂き、必要に応じて面談等を行い、その方に応じた支援を行う。

【県議会の所属委員会が変更になりました】

◎文教厚生委員会にかわり、「環境・生活委員会」に所属することになりました。早速、子どもや女性が被害に遭った際の一時保護と警察への連絡等を行う民家や事業所の支援や近年増加する高齢者の交通事故防止等について、具体的な提案を行っています。

山田朋子(やまだともこ)の略歴

《おいたち》
- ●昭和４７年４月６生まれ（現在４４歳）
- ●佐世保市立小佐世保小学校、佐世保市立旭中学校
  私立聖和女子学院高校
  佐賀短期大学　食物栄養学科
- ●メーカー系商社に勤務したのち、
  平成１６年より山田正彦（父）衆議院議員秘書
- ●平成１９年 長崎県議会議員初当選
  （任期中に乳がんを患うも手術・治療を経て復帰）
- ●平成２７年 長崎県議会議員３期目当選

《現　在》
- ●長崎県議会議員（総務委員長など歴任）

◎防災士　◎保護司　◎社会福祉法人親愛会理事
◎NPO 法人だるま会理事　◎NPO 法人葵会理事
◎学校法人聖和女子学院評議員　等
- ●自宅は佐世保市須佐町、息子は高校１年生

監査委員、退任へ

◎２０１５年４月から１年間、県監査委員として５０日以上、県の財務や事業が適切に行われているかチェックを行ってきました。任期１年の職務を全うでき、今春退任となりました。

2016年3月22日
監査委員退任式で、知事より感謝状

《 2016年3月4日　予算総括質疑に登壇 》

里親、がん患者就労の支援強化を

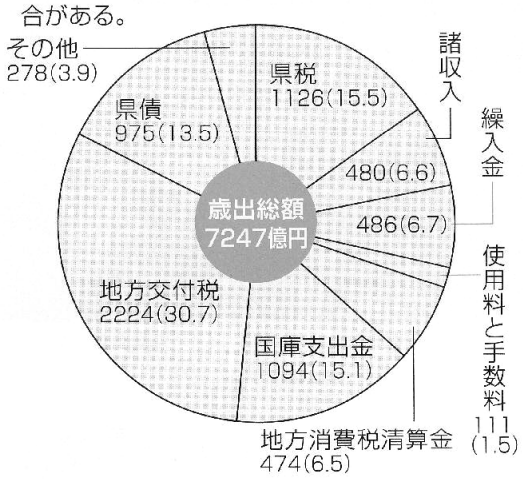
●里親登録世帯数は１１２世帯、実際に養育している世帯は４３世帯で６２人の子どもたちが家庭的な環境のもとで暮らしており、そのような里親、里子を支援する里親支援専門相談員が県内に７人配置されています。しかし、課題も多く、里親の皆さんから要望のあった地域偏在解消と未委託先も含んだ担当制について、新たに導入すべきと提案しました。

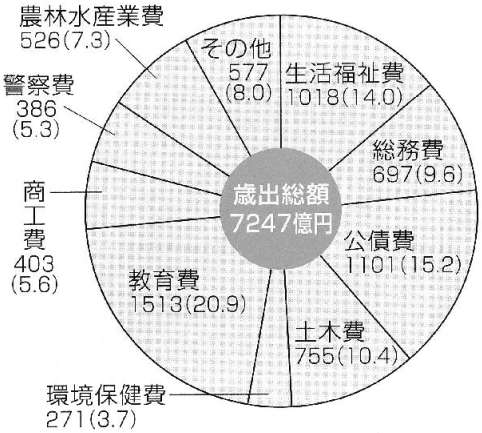
●がんと診断を受けた約４割の方が離職しています。治療が長期に及ぶことで費用も嵩むことから、がん患者の方々の就労支援が強く求められています。厚生労働省も、病院と連携しながら症状や治療内容を把握し、治療と仕事が両立できる支援体制を整えることをガイドラインで定めました。対象はがん患者だけではなく、長期で療養が必要な糖尿病、脳卒中等も含んでいます。私は、県が積極的にがん患者の皆さんの相談に応じること、企業側の理解を求めるべく、広報啓発活動に取り組むよう求めました。

― 新年度予算『経済・少子化・子ども貧困対策に重点』 ―

2016年度 長崎県一般会計当初予算案

数字は億円、カッコ内は構成比%。金額は億円未満を、比率は小数点2位をそれぞれ四捨五入しているため、合計があわない場合がある。





＊このグラフ及び新事業等の資料は朝日新聞（長崎版）の提供によるものです。

■主な新事業　（2015年度2月補正分を含む）

事業名	額	主な内容
長崎空港24時間化推進事業	5580万円	24時間化に向け、推進委員会を通して航空会社からの具体的な意見聴取などを実施
観光ステップアップ推進事業	1億1780万円	限定の旅行商品を考案するなどして国内外から富裕層を呼び込み、観光産業を活性･高度化
関西･長崎の魅力総合発信事業	5330万円	長崎新幹線の開通を見すえ、JRなどと連携して大阪、京都、兵庫を中心とした関西圏に長崎の魅力をPR
児童養護施設退所者等自立支援資金貸し付け事業	1億4130万円	退所した就職者や進学者に家賃や生活費を貸し付ける。5年間就職継続で返済免除
発達障害児等能力開発･教育支援推進事業	470万円	小中学校のすべての教員を対象に、発達障害児童･生徒への適切な指導について研修会などを実施
長崎県3世代同居･近居促進事業	5000万円	安心して子育てができる環境を整えるため、3世代の同居などを始める際のリフォーム費用などを補助
「人財県長崎」人材育成モデル構築事業	1億4750万円	産官学で連携し、県内の若手経営者らを対象に「ながさき経営人材育成塾」を開講するなどして人材育成を推進
産業人材育成奨学金返済アシスト事業	6040万円	県内企業に就職、定着した人を対象に学生時代の奨学金の返済を最大で半分肩代わりする基金を設ける
元気なものづくり企業ステップアップ支援事業	1億9670万円	県内の中堅企業や中堅企業予備軍に経営の専門家が事業拡大支援などで助言。共同受注システムも構築
長崎金融バックオフィスセンター構想事業	24億5620万円	金融機関の事務･管理部門を誘致するため、県有地にビルを建てる産業振興財団に資金貸し付けなどを実施

2016年3月8日
長崎県議会「緑の募金活動」

2016年2月14日
葵会の皆様とがん検診の活動

2016年2月11日
建国記念日奉祝行事に出席

2016年2月3日
地元・須佐神社の節分祭

■ご意見・ご要望は、山田ともこ事務所　佐世保市光月町8-20　TEL0956-37-0058　FAX0956-37-0078
Mail: office@yamadatomoko.com